

平成13年度 新規採択一覧(1/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-Ⅱ-2)-3	3	1111	付着珪藻群集を用いた河床攪乱および水質の生物学的環境評価指標の開発	徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻	教授	村上 仁士	徳島県	数週間の平均的な河床攪乱状態や水質が評価できる、珪藻群集を用いた生物学的環境評価指標を作成する。水路実験で論理性を検証し、手法のマニュアルも作成する。
13-1-Ⅱ-2)-1	3	1111	北海道の河川環境を総合的にとらえる生物学的評価法の研究	北海道大学大学院理学研究科	教授	馬渡 駿介	北海道	北海道の水生昆虫類の生活史を解明することで河川生の幼生と河畔林にすむ成虫との対応をつけ、北海道の河川と河畔林の環境を総合的に評価する方法を開発する。
13-1-Ⅱ-2)-2	3	1111	AOD(水族環境診断法)とIFIMを組合わせた評価法の開発	豊橋技術科学大学	教授	中村 俊六	愛知県	IFIMにおける水質環境評価をAODによって行う新しい評価法を、インドネシアの河川と我国河川での、魚類および底生生物調査に基づいて開発し、検証する。
13-1-①-7	1	1211	生態系リズムを取り入れた環境修復と改善の高効率化技術に関する研究	千葉工業大学工学部	教授	瀧 和夫	千葉県	底泥からの栄養塩類溶出と水質の揺れ戻しの抑制によって、水域の生態系リズムの回復を図るための加圧浮上・栄養塩生物固定化のハイブリッド技術の開発。
13-1-①-33	1	1211	森林焼失流域における植生回復に伴う水循環過程の変化と水源涵養機能の定量評価	九州大学大学院農学研究院	助教授	大槻 恭一	福岡県	森林火災後から22年間に及ぶ水文観測に基づき、降雨一流出応答に与える植生回復の影響を水文・気象・生態学的に分析し、森林の水源涵養機能を定量的に評価する。
13-1-①-32	1	1211	河川感潮域における細粒物質の移動機構に関する研究	愛媛大学工学部	助教授	伊福 誠	愛媛県	感潮域の河床近傍での細粒物質の時空間的変動を調べるとともに密度流場における細粒物質の凝集、沈降、底面からの離脱および拡散を予測する数値モデルを開発する。
13-1-①-31	1	1211	河川水と地下水の相互作用に関する基礎的研究	香川大学工学部	教授	河原 能久	香川県	河川と周辺の透水層の間での水の交換現象に関して、室内水路を用いて定常流と非定常流に関する実験を行うとともに、2次元数値解析を行い、水交換量の定量的な評価手法を提案する。
13-1-①-23	2	1211	大阪平野における水環境評価のための広域地下水流動解析システムの構築	大阪産業大学人間環境学部	教授	村岡浩爾	大阪府	大阪平野(大阪市域を中心とする周辺都市域)の地下水盆地構造・地下水涵養機構にもとづいて、広域地下水流動シミュレーションのための解析システムを構築する。
13-1-①-9	1	1211	水田からの養分流出予測モデルの開発	東京農工大学大学院農学研究科	助手	渡邊 裕純	東京都	田面水中での養分濃度の予測モデルを開発し、ほ場実験で評価・検証を行い、シミュレーションによる水田からの肥料流出制御に関する最適水田管理を提言する。

平成13年度 新規採択一覧(2/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-①-36	1	1211	水田の有する化学的、生物学的な水質浄化機能の併用による、河川・地下水への窒素負荷軽減	宮崎大学農学部	教授	杉本 安寛	宮崎県	水田の有する脱窒素機能と、湛水下で生育し、かつ吸肥能力の高いキシユウスズメノヒエを栽培することにより、家畜糞尿の大量施用に伴う、河川・地下水の硝酸汚染を回避する方策を見出す。
13-1-①-10	1	1211	石けん由来陰イオン界面活性剤の簡易分析	工学院大学工学部	講師	釜谷 美則	東京都	石けんの陰イオン界面活性剤を溶媒抽出によらない方法で簡易分析できる方法を開発する。
13-1-①-12	1	1211	地下水収支に及ぼす周辺河川水位の影響に関する研究(大野盆地を例として)	芝浦工業大学工学部土木工学科	教授	菅 和利	東京都	冬季の地下水揚水障害が問題になっている大野盆地で、赤根川、清滝川、真名川の水位と地下水水位を比較し、河川からの涵養を考慮した地下水収支の分析を行う。
13-1-①-13	1	1211	河川水中のシリカの溶存状態の測定;シリカの沈殿条件を探る	東京水産大学海洋環境学科	助手	高橋(田中)美	東京都	シリカは海水では富栄養塩の一つである。河口においてシリカが海水の塩と反応し、沈殿する条件について、そのシリカの化学種の観点からを基礎的に解明する。
13-1-①-3	1	1212	超軽量多孔質ポリマーコンクリートの生態系保全河川護岸材料への適用に関する研究	秋田大学工学資源学部	教授	川上 洵	秋田県	軽量骨材を用いた超軽量多孔質ポリマーコンクリートの河川護岸への適用を想定し、水質浄化等の護岸としての生態系保全機能の開発と評価を行う。
13-1-④-26	1	1212	吉野川河口部の塩分・水温構造と汽水生態系に及ぼす物理環境変化の影響評価	徳島大学工学部	助教授	中野 晋	徳島県	吉野川河口部における塩分・水温構造の実態把握に加えて河口砂州変形などの物理環境変化が汽水生態系、特に干潟底生生物に与える影響評価手法について検討する。
13-1-④-27	1	1212	那賀川河道内における河床変動とそれに対する砂州上樹木群落の応答に関する研究	徳島大学工学部	助教授	鎌田 磨人	徳島県	那賀川河口から上流43kmまでの区間における砂州上の樹木群落の消長と河床の変動パターンを過去40年にわたって把握し、河道内樹木の動態に関わる要因を明らかにする。
13-1-④-23	1	1212	自然および人工的な河川構造が魚類の遺伝的集団構造に与える影響	奈良女子大学理学部	助教授	渡辺 勝敏	奈良県	自然な河川のハビタット構造や人工構造物が魚類の遺伝的集団構造と多様性に与える影響をDNAマーカーにより明らかにする。
13-1-①-20	1	1212	わんどの形成機構とそれに伴う河川環境に関する研究	京都大学工学研究科	教授	梶津 家久	京都府	わんどに発生する組織渦によるわんど形成過程と水質交換現象の解明およびわんどが河川環境に及ぼす影響を解明する。

平成13年度 新規採択一覧(3/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-④-29	1	1212	河口感潮部における植生域と河口砂州地下水特性に関する研究	愛媛大学工学部	教授	鈴木 幸一	愛媛県	重信川河口感潮部の植生域を対象に生態系保全の観点でヨシの植生に着目し、植生域の分布特性と塩分濃度、リン・窒素等の河口砂州地下水特性の関係を説明する。また、植生域の分布特性を考慮した平面二次元解析による河床変動計算を行う。
13-1-④-30	1	1212	底生生物相から見た長崎市・浦上川の河道形態と改善策	長崎大学環境科学部	教授	三矢 泰彦	長崎県	川と海を往来する通し回遊種の流下幼生と遡上稚仔の分類ならびに捕食魚類の胃内容物調査に注目し、分布を制限する河道形態を明らかにし、改善策を提案する。
13-1-①-21	1	1212	溪流への土砂供給イベントのモニタリングと土砂動態の推定	京都大学大学院農学研究科	助教授	藤田 正治	京都府	山地流域において、溪流への土砂供給イベントを下流の濁度観測により間接的にモニタリングするとともに河床変動計算から土砂動態全体を把握する手法を開発する。
13-1-④-24	1	1212	河川健全度を測る新しい手法の確立	岡山大学農学部	助教授	宮竹 貴久	岡山県	河川健全度を比較する手法の確立のため、複数河川において河口汽水域の貝類群集の種多様度を測定し、個体群と群集の視点を取り入れた新しい環境指標を設定する。
13-1-④-25	1	1212	通し回遊魚の耳石微量元素を利用した河川環境スクリーニング法の開発	広島大学生物生産学	助教授	海野 徹也	広島県	通し回遊魚の耳石微量元素を利用し、河川建造物および環境を評価・スクリーニングするためのバイオロジカルレコーダーを開発する。
13-1-④-28	1	1212	河道及び水際部の空間構造と生物種の多様性の相互関係	香川大学工学部	助教授	角道 弘文	香川県	被地状況、植生分布、水際部の形状等の河道・水際部の空間構造と、底生動物からみた生物種の多様性の相互関係について明らかにする。
13-1-①-15	1	1212	環境流量における流量変動の指標と望ましい放流方式の提案	東京大学大学院工学系研究科	教授	玉井信行	東京都	環境流量の放流において考慮すべき流量変動の指標を導出し、流量統計、生態学、利水損失等の要素を総合した望ましい放流方式を提案する。
13-1-④-8	1	1212	多種の稀少生物が生息する汽水域における捷水路工事直後の河川生態系復元に関する研究	東京大学大学院総合文化研究科	助手	清野 聡子	東京都	多種の稀少生物が生息する大分県八坂川の汽水域で捷水路工事直後の生態系復元を調査する。河道計画に還元し適応的管理に資する。平易なモニタリング法も開発する。
13-1-①-1	1	1212	微小電極を用いた河川底質内のメタン生成速度の測定	八戸工業大学土木工学科	講師	佐藤 久	青森県	微小電極を用いて新井田川底質内のメタン濃度分布を測定する。

平成13年度 新規採択一覧(4/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-④-9	1	1212	河口・海岸域の生態系環境造成と管理に関する調査・研究	社団法人国際海洋科学技術協会	会長	佐古 一	東京都	河口・海岸域の生態系環境造成と管理に対し、これまで行われてきた技術の検討及びその構築と手法の改良について研究。
13-1-④-16	1	1212	魚類の遊泳運動に及ぼす水流の乱れ構造からみた魚道の評価	岐阜工業高等専門学校	助教授	和田 清	愛知県	魚類の遊泳運動に乱れの特性がどのように影響を与えるかを実験的に明らかにし、魚道における魚類の遡上行動と環境要因から、魚道の機能を評価する。
13-1-①-37	1	1212	遊水地(人工湿地)による流域からの流入負荷の軽減に関する研究	独立行政法人北海道農業試験場草地区部	上席研究	早川嘉彦	北海道	農地で発生し小排水路などの水系に到達した窒素を、河川に流出する前に浄化するための遊水池につき、その浄化機能を十分に発揮させるための方策を研究する。
13-1-③-4	1	1212	安全な水環境創出のためのオゾン処理技術に関する調査	特定非営利活動法人日本オゾン協会	副会長	中山繁樹	東京都	上水原水および下水処理水に含まれる微量有害物質のオゾン処理評価、オゾン反応生成物および制御に関して、塩素処理との比較を含めて調査する。
13-1-④-13	1	1212	阿賀野川床固工(沢海・渡場)付近における河川区域の生物群集と遡河性動物の遡上・定着に関する研究	新潟河川生態研究グループ	教諭	松本史郎	新潟県	阿賀野川の床固工(沢海・渡場)付近の河川区域内の堤防・河川敷を含めた河川環境と生物の群集構造および魚類・底生動物の遡上実態を調査する。
13-1-①-8	1	1212	河川湖沼の汚濁防止型浮泥除去浚渫工法の性能確認追跡試験	日本大学総合科学研究所	教授	三浦 裕二	千葉県	湖沼の浮泥と底泥を水中で混合固化し、後の浚渫時の浮泥拡散防止及び内部汚濁負荷低減を図ります。当申請として固化後の強度・pH等の変化を追跡調査します。
13-1-①-5	1	1212	利根川最上流域河川中窒素成分の通年調査による流出源別分離	群馬高専環境都市工学科	教授	青井 透	群馬県	谷川岳の降雪雨と各流出沢水及び利根川最上流部、各部の定期的な水質調査を実施し、利根川河川水中の各態窒素成分の挙動を把握し、流出源別の分離を行う。
13-1-①-2	1	1212	利根川水系における水枯れの原因究明とその対策	岩手大学農学部	教授	石井 正典	岩手県	利根川の給水制限となる、その原因究明のため、流量の影響因子を降水量、気温及び森林蓄積の3変数で重回帰分析法によって流量と3変数との関わりを究明する。さらに給水制限にならない流量の森林のあり方の提案を行う
13-1-②-5	1	1213	武庫川下流域ハザードマップ作製に向けてのベースマップ、微地形分類図作製	神戸大学	名誉教授	田中眞吾	兵庫県	武庫川下流域についてのハザードマップ作製を志向した、航空写真判読、補完資料の収集及び現地調査による1/10,000微地形分類図の作製。

平成13年度 新規採択一覧(5/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-②-4	1	1213	水災害・土地利用・土地需給の関係に関する調査研究	京都大学工学研究科	助手	市川 温	京都府	水災害を受けた地域の土地利用と地価の時空間的変遷状況を調査・整理し、水災害・土地需給の関係ならびに流域管理方策のあり方について考察する。
13-1-②-3	1	1213	都市小河川流域の治水に果たす貯留施設の効果	名古屋工業大学工学部	教授	富永 晃宏	愛知県	平成12年東海豪雨において比較的被害の小さかった天白川支川扇川流域において、貯留施設の治水に果たした効果についてデータをもとに流出解析を行い検討する。
13-1-②-2	1	1213	河川・沿岸域の特徴を活かした防災支援モデルの整備研究	社団法人海洋産業研究会	常務理事	中原裕幸	東京都	河川・沿岸域を利用した災害時の支援について、河川水および沿岸域の形状を活かしたモデルを複数提示し、各モデルにふさわしい防災支援ツールを検討する。
13-1-②-1	1	1213	群馬県における鉄砲水発生確率の地域特性と入山者対策	群馬大学工学部	教授	小葉竹 重機	群馬県	表層特性、降雨特性、地形特性から鉄砲水の発生確率の地域分布を求め、この結果を地元へ提示することにより地元住民の啓蒙を図ると共に、入山者対策とする。
13-1-①-4	1	1214	河川の水質形成における下水処理水の影響と対策	米沢中央高等学校	教諭	佐藤 五郎	山形県	下水道処理排水が河川に及ぼす影響を水質形成の観点から探り、健全なる水循環および流域の水管理に向けた基礎資料に供するものである。
13-1-④-17	1	1214	陸水源に起因する疫病リスクの分析ならびに対応への指針策定	福井医科大学医学部	助教授	高田伸弘	福井県	陸水に直接起因する疾病リスクとして、寄生虫類、食中毒の菌や原虫、アレルギー原性昆虫等の問題を分析し、実地対応の指針を示す。
13-1-①-16	1	1214	甲府盆地における河川水と地下水の相互交換に関する研究	山梨大学工学部	教授	竹内邦良	山梨県	釜無川・笛吹川およびそれらの支川と、甲府盆地の地下水帯との相互交換を、多層準三次元地下水モデルにより解析し、地下水流線網の非定常変化を検討する。
13-1-①-6	1	1214	下水道普及に伴う河川水質悪化の原因とその対策	立正大学地球環境科学部	助教授	小川 進	埼玉県	近年出現した下水道普及に伴う河川水質が悪化する現象について、多摩川上流域を対象に現地水文・水質観測と衛星データの解析からその原因と技術的対策を考察する。
13-1-④-4	1	1215	好酸性コケによる酸性河川水中からの金属除去に関する研究	東北大学大学院工学研究科	教授	野池達也	宮城県	好酸性コケを用いて酸性河川水中からの金属除去を検討し、コケの金属摂取能力と生育条件の関係を明らかにする。

平成13年度 新規採択一覧(6/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-4)-2	2	1215	北上川河口域における地域共生システムに関する総合的研究	岩手大学人文社会科学部	教授	牧 陽之助	岩手県	北上川河口域の地域社会と生態系の諸関係、および上流域との関係を地域共生システムと捉え、これを自然・社会・人文科学的手法によって総合的に解析する。
13-1-④)-10	1	1215	水辺の植物群落レッドデータ・リストの分析及び第2次リストの作成	財団法人日本自然保護協会	研究担当	開発法子	東京都	河川や海岸に成立する水辺の植物群落レッドデータ・リストを分析し、保護上の危機の視点から選ぶ水辺の植物群落第2次レッドデータ・リストを作成する。
13-1-④)-20	2	1215	原生動物の分類・検索ホームページの開発	神戸大学理学部	助教授	洲崎 敏伸	兵庫県	淡水産原生動物の種の同定を、専門知識を問わず広く可能にするためのシステムを、インターネットのホームページとして開発し、一般に公開する。
13-1-④)-21	2	1215	コウノトリの生息を可能とするワンドの生物多様性の保全に関する研究	姫路工業大学自然・環境科学研究所	教授	池田 啓	兵庫県	円山川のワンドにおける生物多様性の保全・回復のための整備手法を検証し、コウノトリの生息の可能性を探る。
13-1-①)-19	1	1215	アオコ発生における底泥中の休眠細胞の役割解明とその除去方法の検討	滋賀県琵琶湖研究所	研究員	辻村茂男	滋賀県	底泥の浮遊性ラン藻各種の休眠細胞がシードポピュレーションとしてアオコ形勢にどの程度重要か解明し、天日干しを想定した休眠細胞の効率的な除去方法を検討する。
13-1-①)-30	1	1215	森林の水質保全機能に及ぼす樹種の影響に関する調査研究	徳島大学工学部	教授	瑞野道夫	徳島県	国土交通省四国整備局の落葉広葉樹林試験地での観測結果を他地域の解析結果(常緑広葉樹等)と比較し、森林の水質保全機能に及ぼす樹種の影響を定量評価する。
13-1-①)-28	1	1215	農地土壌の易流出性リンの評価と測定方法の提案	山口大学工学部	教授	浮田正夫	山口県	農地流出水中の濁りの粒度分布データを蓄積し、貯水池等の富栄養化の要因と目される土壌の易流出性リンの評価解析を行い、合理的な測定方法を提案する。
13-1-⑩)-1	1	1215	リュウキュウアユは定着したか—放流後10年間の軌跡	琉球大学理学部	助教授	立原一憲	沖縄県	福地ダムにリュウキュウアユが放流され、10年間が経過した。この間の資源動態と成長及び再生産様式から本亜種のダム湖への定着の成否を検討する。
13-1-①)-25	1	1215	干拓の中止された中海の湖底堆積物の擾乱が周辺に与える影響	島根大学教育学部	教授	野村律夫	鳥取県	中海の貧酸素水塊への湖底堆積物の水深別移動量とメイオベントスの移動能力を調査し、富栄養化した水塊が周辺環境に及ぼす影響をモデル化する。

平成13年度 新規採択一覧(7/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-①-22	1	1215	河川に生息する水棲生物に対する内分泌攪乱作用の評価	大阪府立大学先端科学研究所	助手	川西優喜	大阪府	水棲生物の環境ホルモンレセプター遺伝子をクローニングし既存のレセプター結合アッセイ系を改良、河川水の水棲生物に対する内分泌攪乱作用を調査する。
13-1-①-27	1	1215	放射霧の発生に及ぼす大面積貯水池の影響：広島県西条盆地三永水源池における事例解析	広島大学総合科学部	助手	土谷彰男	広島県	放射霧の発生に及ぼす貯水池からの水蒸気フラックスを評価し、接地逆転層に覆われた盆地大気の大気構造と地表被覆の違いによる水平方向の差異を調べる。
13-1-①-29	1	1215	水から発生する臭気の感覚的測定における精度向上に関する研究	山口大学工学部	助手	樋口隆哉	山口県	水辺環境における適切な臭気の評価を行い、測定結果の信頼性を確保するために、水から発生する臭気感覚的測定方法の精度管理手法を確立する。
13-1-①-26	1	1215	農業集落排水の植生浄化を利用した水環境改善	鳥取大学工学部	助教授	檜谷 治	鳥取県	千代川の支川佐治川において農業集落排水が水環境に与える影響を評価するとともに、同排水をコンクリート実験プールを用いて植生浄化する実験を行う。
13-1-④-22	1	1215	河川環境を鳥の目で見て評価する研究	姫路工業大学自然・環境科学研究所	教授	江崎保男	兵庫県	河川のある場所をある鳥がなぜ利用するのかを周囲の環境を含めて解析・解明し、川づくりに鳥の視点を提供する。
13-1-①-24	1	1215	酸性降下物の溪流河川水質に対する影響評価に関する研究	兵庫県立公害研究所	主任研究	駒井 幸雄	兵庫県	兵庫県内の全溪流河川水質の現状を把握し、酸性降下物による陸水影響を評価する基礎データを整備する。
13-1-④-1	1	1215	シマフクロウが生息できる河川環境調査事業	帯広畜産大学生態系保護学講座	教授	藤巻裕蔵	北海道	シマフクロウが生息できる河川モデルを立案し、生物にとって理想的な川づくりを進めるために、ロシア沿海州の原始河川の環境について基礎的な調査を行う。
13-1-④-2	2	1215	河川の蛇行復元がサケ科魚類の行動生態および生息環境に与える影響	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	教授	上田 宏	北海道	自然復元のモデルケースとして行われる標津川における蛇行復元により、地域の重要な水産資源であるサケ科魚類の行動生態および生息環境がどのように変化するかを総合的調査し、改善策を検討する。
13-1-①-17	1	1215	懸濁態リンの河川流出特性と藻類増殖能	岐阜大学工学部	助教授	井上 隆信	福井県	長良川の支川を対象に降雨時流出に着目し、懸濁態リンの連続抽出法による分画と藻類増殖能試験から、藻類利用可能な懸濁態リンの形態と流出特性を明らかにする。

平成13年度 新規採択一覧(8/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-④-14	1	1215	河床攪乱頻度を指標とする生物生息場評価手法の開発	名古屋大学工学研究科	教授	辻本 哲郎	愛知県	河川の動的側面を反映する河床攪乱頻度を指標とした生物生息場評価手法を開発する。特に生態系上位種であるアユの生息場に着目する。
13-1-④-6	1	1215	常陸利根川のソコムジンコに関する生態学的研究	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター	助教授	菊地義昭	茨城県	常陸利根川堤防外水際に繁茂しているヨシ帯内に生息する微小甲殻類としてのソコムジンコの生態学的位置を明らかにする。
13-1-③-3	1	1215	合成女性ホルモンエチニルエストラジオールの生分解に関する研究	東京農工大学工学部	助手	中井智司	東京都	経口避妊薬のピルの成分であるエチニルエストラジオールを分解する微生物を単離し、その分解経路を特定すると共に分解生成物の女性ホルモン作用を評価する。
13-1-④-15	1	1215	木曾三川下流域河川主要植物の根系調査	名古屋女子大学総合科学研究所	客員教授	南川 幸	愛知県	木曾三川下流域の河川敷植被を構成しているヨシをはじめ主要植物の地下器官である根系の形態生態及び生育環境の特性を調査し適切な河川植生の増殖の資料とする。
13-1-⑤-5	1	1215	熊本市市街中心部を流れる白川の河川景観整備に関する研究	熊本大学工学部	助手	星野裕司	熊本県	熊本市の中心部を流れる白川を対象として、景観的・歴史的見地から、街のアメニティに対する川の役割を分析し、具体的な河川景観整備への提言として展開する。
13-1-④-11	1	1215	里山のため池に生息するトンボ類の移動の機能とため池の果たす役割の解明	柿崎町立柿崎中学校	教諭	土屋 泉	新潟県	里山一ため池生態系に生息を依存していると思われるトンボ類に見られる移動の雌雄による違いの適応的意義を調査し、ため池の果たす役割を解明する。
13-1-④-31	1	1215	蛇行流路の復元に伴う生態学的機能の回復に関する研究	北海道大学大学院農学研究科	教授	中村 太士	北海道	旧蛇行河川への通水が、旧川の地下水動態、物質循環、水辺植生や魚類そしてそれらの生息環境に与える影響を明らかにし、河畔域の管理手法を確立する。
13-1-4)-3	2	1215	神通水系の水環境と流域生態系の調査ー環境汚染物質が生態系に及ぼす影響ー	富山大学理学部	教授	内山 実	富山県	神通水系の水・底質中の化学物質汚染と生態系の調査を行い、汚染状況と生物個体群における、特に生殖機能に及ぼす影響を明らかにする。
13-1-①-34	1	1215	照葉樹林帯を流下する溪流河川群の水質形成とその環境影響	福岡県保険環境研究所	専門研究	福岡県保険環	福岡県	屋久島西部地域の溪流河川群の水質形成に寄与する因子がその流域環境に与える影響を分析する。

平成13年度 新規採択一覧(9/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-④-5	1	1215	河川の人為的改変が河畔林の持続的維持に与える影響に関する研究	東北大学大学院農学研究科	教授	清和 研二	宮城県	河畔林を構成する主要樹種について繁殖様式および遺伝的構造を調べ、河畔林の断片化・孤立化がその持続的維持に及ぼす影響を予測・評価する。
13-1-④-12	1	1215	信濃川流域における絶滅危惧種(植物)の分布と保全の対策	新潟大学理学部	教授	石澤 進	新潟県	国及び新潟県の植物のうち、河川沿いに多くの絶滅危惧種の生育が国勢調査の結果示唆されているが、その実態を解明し、保全の対策を考察する。
13-1-①-35	1	1215	韓国八堂ダム周辺環境保全対策に関する調査研究	九州大学経済学研究院福岡県	助教授	深川博史	福岡県	韓国最大の八堂ダム湖は、二千万人規模のソウル首都圏上水道需要の8割を充たしている。本研究では、ダム周辺の上水源保護区域の環境対策を検討する。
13-1-④-7	1	1215	湧水の環境構造と生物多様性から考えるビオトープ	千葉県立中央博物館(倉西良一)	上席研究	倉西良一	千葉県	東京都やその周辺を流れる湧水流の環境構造と底生動物群集との比較から生物多様性の維持に必要な構造を抽出し、都市域における望ましいビオトープを提言する。
13-1-④-3	1	1215	北上川の感潮域における塩分環境とベントス群集との関係解析	岩手医科大学教養部	助手	松政正俊	岩手県	北上川(追波川)の感潮域におけるベントス群集の構造および機能と塩分環境との関係を解析し、感潮域の水管理に関する生態学的なプロセスの実態を明らかにする。
13-1-①-14	1	1215	都市河川における河床付着微生物の環境改善作用	東京都立大学理学研究科	教授	渡辺泰徳	東京都	典型的な都市河川である大栗川を対象として、河床の付着微生物層が果たす水質改善作用を分析し、望ましい護岸形態や流量・水質の管理の改良に資する。
13-1-⑥-1	1	1216	付着性原生動物を用いた一般市民のための簡易河川監視システムの作成と環境教育への応用	宮城教育大学環境教育実践研究センター	教授	見上一幸	宮城県	名取川と広瀬川を中心とする水系の過去の水質データを基に、水質と指標生物となる原生動物との関係を調査し、環境教育の中での河川理解のための方法を開発する。
13-1-⑥-2	1	1216	利根川水系における治水・利水史の研究	日本大学通信教育部	助教授	竹中 眞幸	東京都	近世中期～明治前期における利根川水系を対象とする治水・利水史の研究
13-1-⑥-5	1	1216	農村群落における水環境の伝統的管理システムと集落整備の整合性に関する研究—大和盆地環濠集落における歴史的環境保全の事例	奈良女子大学生生活環境学部	助教授	増井 正哉	奈良県	大和環濠集落を対象に歴史的な水環境を形成し維持してきた伝統的環境管理システムと、新しい集落整備事業との整合性を検証し、環境保全のあり方を考える。

平成13年度 新規採択一覧(10/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-⑥-6	1	1216	水郷柳川における住まいと水路の相補関係に関する研究	九州大学大学院人間環境学研究院	教授	菊地成朋	福岡県	柳川の都市基盤としての水路を住生活の視点から捉え直し、その今日的価値を探る。
13-1-⑤-4	2	1216	風土色を考慮した河川景観・環境の数値的評価手法に関する研究	三重大学生物資源学部	助教授	大野 研	三重県	ファジィ理論、フラクタル理論及びニューラルネットワークを組合せて、人間の定性的な景観・環境評価を、風土色も考慮して数値的に評価する手法の研究。
13-1-①-18	1	1216	古文書の天候記録を用いた歴史洪水の復元と洪水頻度分析への応用	名古屋工業大学工学部	助手	庄 建治朗	愛知県	滋賀県各地に残る江戸時代後期の日記の天気記録を収集整理し、気候変動・水文環境を復元する。また、復元した極値降水量を用いた洪水頻度分析への応用を試みる。
13-1-⑥-4	1	1216	水を大切にする知恵の発掘と実験と体験	滋賀県立大学人間文化学部	大学院	岡田玲子	滋賀県	昔から人々の生活の中にあつた水を大切にする生活の知恵を聞き取り、調査でとらえ直し、生活者の視点からそれを現代に生かす方策を検討し、21世紀の人と水の関係として広く提案する。
13-1-⑥-3	1	1216	信濃川・阿賀野川の流路変遷と地域との関わり	新潟大学理学部	助教授	久保田喜裕	新潟県	信濃川と阿賀野川の流路変遷を地形学的・測地的・地質学的手法から明らかにすることによって、両河川の今後の流路指向を探り、併せて地域との関係を考察する。
13-1-⑤-3	1	1216	城下町における都市河川の親水空間の研究	多摩美術大学美術学部	教授	渡部 一二	東京都	城下町を流通する都市河川における親水機能及び景観形成の空間構造に関する基礎的研究。
13-1-⑤-1	1	1217	釣り(人)を通して見た市街地を流れる川の望ましい姿	東洋大学工学部	教授	福井 吉孝	埼玉県	高齢化社会における市街地河川のあるべき姿を、釣り人として頻りに利用する地域の人たちの目を通して探る。
13-1-⑦-3	2	1217	河川災害の被災の有無による住民意識の差異・変化に関する研究調査	九州大学大学院工学研究院	教授	小松 利光	福岡県	非常時・異常時に備える治水事業の是非には平常時の住民感覚だけでなく、実際被害を経験した人々の声を最大限尊重すべきであることから、その違い・落差を調べる。
13-1-⑤-6	1	1217	人間と自然との調和を目指す河川水辺環境整備と住民参加に関する研究	国立鹿児島工業高等専門学校土木工学科	教授	疋田 誠	鹿児島県	鹿児島県の川内川・天降川を例として、河川水辺整備に伴う水際の環境変化を調査し、地方都市・農村部における住民参加のあり方を検討する。

平成13年度 新規採択一覧(11/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-⑦-4	1	1217	雲仙普賢岳の被災地の復興まちづくり支援に関する研究	長崎大学工学部	教授	高橋和雄	長崎県	雲仙普賢岳の火山災害被災地の復興まちづくりには、砂防指定地の利活用等の砂防事業との連携がこれからも重要で、本研究では地域のニーズと実現方を調査する。
13-1-⑤-2	1	1217	河川空間における船舶等レジャー利用のポテンシャル評価とゾーニング手法	埼玉大学工学部	助手	深堀清隆	埼玉県	与えられた河川形態に対してどの種類のレジャー活動が適性を有しているかを定量的に評価し、その結果に基づいた水面および水際利用のゾーニング手法を開発する。
13-1-①-11	1	1217	河川管理における企業の果たす役割に関わる調査研究	社団法人産業と環境の会	会長	濃野 滋	東京都	河川管理を行う際に地域社会の各界各層の参加が必要であり、中でも企業の果たす責務は極めて重要であることから、企業の河川管理への対応状況等を調査します。
13-1-⑦-1	1	1217	河川・溪流の環境整備のための地域住民の参加方法に関する研究	山梨大学工学部	助教授	大石 哲	山梨県	河川や溪流の環境整備のための地域住民の有意義な参加方法について、各地の実例の分析と実際の川づくりへの参加に基づいて検討する。
13-1-⑦-2	1	1217	霞堤周辺部における土地利用の実態と住民意識	信州大学農学部	教授	木村和弘	長野県	天竜川支流・三峰川の霞堤周辺部の土地利用変化と住民意識の実態を把握・検討し、「流域対策による治水」に資する土地利用計画を提示する。
13-1-⑧-1	1	1218	多自然型河川工法事例の費用対効果の分析方法の検討	岩手大学農学部	教授	広田純一	岩手県	岩手県内を中心とする多自然型工法による河川改修事例について、効果としてこれまで取り上げられなかった河川環境や地元住民の意向を含めた対効果分析手法を提案する。
13-1-⑧-2	1	1218	堤防刈り草を用いた除草ボードの製造と河川環境の保全	岐阜大学農学部	教授	棚橋光彦	福井県	堤防や河川敷の雑草の有効利用および除草作業の効率化と河川環境の保全を目的として高圧水蒸気圧縮成形法により接着剤を用いない刈草から高強度・高耐水性除草ボードを開発し、除草効果と景観植物の生育試験を行う。
13-1-⑨-2	1	1218	河川の高度利用に適した漁業権制度のあり方に関する研究	東京農工大学農学部	専任講師	吉田 央	東京都	本研究は、漁業権制度の問題点を正確に把握し、是正策を検討する事を目的とする。
13-1-⑨-3	1	1218	パートナーシップによる河川管理の総合的研究－日・英・米の実情把握と日本への導入手法の分析－	河川・運河・水辺再生研究会	会長	長屋静子	東京都	日英米の河川管理におけるパートナーシップの社会的位置づけ及び法制度を調査し行政、企業、NPOの役割分担や管理運営の事例から日本への導入手法を分析する。

平成13年度 新規採択一覧(12/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-1-⑨-1	1	1218	河川の余暇目的での利用に係る法的課題の検討	立教大学法学部	教授	橋本博之	東京都	自然空間としての河川の利用に係る河川管理について、法的権限・法的手法・法的責任のあり方を総合的に検討する。
13-1-③-1	1	1218	有用生物と未利用資源を活用した養殖廃水の浄化と再利用	財団法人電力中央研究所我孫子研究所	上席研究	本田晴朗	千葉県	内水面魚類養殖からの河川・湖沼などへの汚濁負荷を軽減するため、食物連鎖や植物の栄養塩吸収能を利用した養魚排水処理システムの開発に必要な情報の収集と分析を行う。
13-1-③-2	1	1218	工業用水使用実態調査	財団法人造水促進センター	水処理技	小笠原尚夫	東京都	工業用水の水使用実態を調査し、回収使用の実施例等を収集整理して広く利用可能な実施例集を作成。
13-2-8	1	2001	京橋川水辺のまちづくり活動	上幟町東・京橋川水辺のまちづくり委員会	委員長	磯部 典宏	広島県	河岸緑地を有効に活用し、地域の活性化やコミュニティづくり、地域環境の向上を図るため、河岸緑地の魅力を高めるための地域活動を実施する。
13-2-5	1	2001	水無川グリーンロード整備事業	安中地区まちづくり推進協議会	会長	大町辰朗	長崎県	噴火災害の被災住民による植樹を行う。
13-2-4	1	2001	天竜川水系小渋川の景観づくり	大鹿村さくらの会	会長	小野貞次	長野県	天竜川水系小渋川護岸へ桜を植栽し、村民や訪れる観光客の憩える空間としての環境と景観を整備する。
13-2-2	1	2001	桜つつみを生かした花壇と堤防雑草・リサイクル活動	桜つつみに花を育てる会	代表	野沢良子	栃木県	鬼怒川堤防の桜つつみを活用して、ハーブを中心とした花壇を造りながら、堤防の雑草を活用して、堆肥造りを行い、堆肥の利活用を図る研究をする。
13-2-3	1	2001	バイカモとさかなの駅づくり 栃木県	河内町自然環境研究会	会長	増渕 昭	栃木県	河川改修による河床植物(特に清流に生殖する「バイカモ」)の保全と移植による生育調査と河畔林や里山で育った粗朶を活用したさかなの駅の研究活動。
13-2-1	1	2001	只見川流域の植生をとり入れた花だんづくり	田中組川端花畑管理委員会	会長	目黒彰一	福島県	只見ダム建設によって人工河川(放流溝)化し、自然が無くなった。心の安らぐように、只見川流域の植生をとり入れた憩いの場となるような花だんを作る。

平成13年度 新規採択一覧(13/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-2-6	1	2001	川内川(大鶴湖)環境整備対策(川ざらえの碑等周辺整備)鹿児島県	大口市	市長	隈元 新	鹿児島県	水質、景観等水辺環境の向上に寄与するために、大鶴湖(菅木の滝周辺)にある地域特有の歴史的大事業「川ざらえ」の碑等を整備及び紹介し、普及啓発に活用する。
13-2-7	1	2001	元安川パラソルギャラリー & オープンカフェ	元安川河岸緑地有効活用実行委員会	委員長	滑 純雄	広島県	河岸緑地(原爆ドーム南側)を有効に活用し、市民や観光客が集い、交流する場を提供するとともに、都市型観光の推進と観光資源の整備開発に資する。
13-3-2)-21	1	3111	河川の源流域における自然と人間との交流活動	川の水源に登るサークル	事務局長	小林満男	東京都	河川の源流域について、自然(地形・地質・気象・動物・植生等)と人間とのかわりを学習し、その水源の山に登ることにより、一般の人々に河川の源流域に親しんでもらおうとする活動。
13-3-2)-9	1	3111	「水辺の楽校」の活用と河川環境教育	松山町立下伊場野小学校	校長	内海 光悦	宮城県	「水辺の楽校」を中心とした河川(鳴瀬川)を利用した学習を推し進めるとともに、ボランティア活動等を通し心身共に健全な児童の育成を目指し、河川環境整備等についての意識を高める。
13-3-2)-16	1	3111	川を題材とした環境学習ワークショップ等の開催	出羽庄内地域づくりグループサロン	専務理事	岡部恵美子	山形県	最上川下流域をフィールドに、川を題材とした環境学習の進め方を検討するワークショップの開催と河川環境保全への意識啓発に向けた活動展開。
13-3-8)-16	1	3111	住民参加による「雨水水辺空間」のビオトープづくりと水質浄化	グループエコライフ	主宰	西江重信	沖縄県	造成した「雨水水辺空間」を児童生徒や住民参加により土入れ、水草植え、水生生物の放流や水質浄化・水循環システムを設置し、生態の蘇生と雨水の利用を図る。
13-3-8)-1	1	3111	多自然型河川工事の現場施工研究	多自然型河川工事現場施工研究サークル	リーダー	出村 光雄	埼玉県	河川工事の設計や施工にたずさわる人達が集まり、多自然型川づくりの技術を実地において取得し地域の人達に普及してゆく。
13-3-2)-17	1	3111	総合的な学習『命を育む西通川』西通川のメダカを増やし、遊佐町の川をメダカでいっぱいにする活動	遊佐町立西遊佐小学校	校長	後藤辰男	山形県	西通川で発見されたメダカを近くの田を区切って池を造り、増やして、また西通川にもどし、町全体にメダカを増やす活動。
13-3-3)-4	1	3111	千葉県内の河川にかかわる土木遺産の調査研究	ちば河川交流会	代表	山田雄三	千葉県	千葉県内の治水・利水施設の中で、現在忘れられようとしている歴史的価値の高いものを調査し、掘りおこす。

平成13年度 新規採択一覧(14/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-7	1	3111	小学校における、河川を理解し愛護する活動	水沢市立姉体小学校	校長	加藤 昭	岩手県	川と人々との歴史的産業的関係や自分たちの生活と水とのかかわりに関する学習、水質検査、植物検査及び河川清掃を実施し、河川を理解し、愛護する活動をする。
13-3-2)-22	1	3111	川の学習活動実践先進校全国大会	川の学習活動実践先進校全国大会実行委員会	代表	村川雅弘	東京都	川をテーマとした環境教育や自然体験活動、2002年度から始まる総合的学習で川の活用を先進的に実践する全国の学校の事例発表と、地域の協力機関や団体の活動紹介を通じた初の大会により活動の普及と交流拡大をはかる。
13-3-7)-15	1	3111	第1回諏訪湖浄化セミナー	諏訪湖浄化プロジェクト県	諏訪建設	北原正義	長野県	諏訪湖浄化セミナーにより、浄化技術・対策の情報交換を行うとともに地域住民との意見交換を行い、諏訪湖浄化におけるパートナーシップの形成を図る。
13-3-2)-20	1	3111	利根川さがしの旅(仮称)	(財)千葉県社会教育施設管理財団	理事長	中村好成	千葉県	関宿から銚子まで、3泊4日にわたり利根川流域を親子で旅し、自然・文化・歴史・治水等、川の総てを探る。
13-3-2)-10	1	3111	「川に親しむための基礎講座」と「川の指導者育成講座」の開催	川に学ぶ体験活動協議会	代表理事	新井 偉夫	宮城県	川に学ぶ社会の創造に向け、「川に親しむための基礎講座」と「川の指導者育成講座」を開催する。
13-3-2)-27	1	3111	ダム湖における花などの植物を利用した水質浄化実践・啓発活動	つくいビオトープ推進委員会	委員長	高城甲子郎	神奈川県	神奈川県の水源地の津久井湖での花などの植物を利用した水質浄化の実践、周辺美化、緑化等による地域環境保全啓発活動。
13-3-2)-11	1	3111	河川愛護への支援活動	宮城県治水協会	会長	川井貞一	宮城県	水辺の美化活動や河川教育活動等の河川愛護活動を行う河川愛護団体等に対し助成金を交付し支援を行う。
13-3-2)-12	1	3111	蛍の舞う美しい里作り蛍の養殖と環境学習事業	太白区蛍の里づくり推進協議会	会長	遠藤富雄	宮城県	自然に近い養殖水路での蛍の生育研究、自然発生への展開、養殖施設の充実と近隣住民への公開、蛍まつりへの参加等を通じ環境保全の大切さを学ぶ。
13-3-2)-1	1	3111	リバースクール「千歳川・かわ塾」の開催	特定非営利活動法人水環境北海道	理事長	佐伯 昇	北海道	千歳川及び石狩川下流域をフィールドに、自然体験と環境学習等を行うリバースクールを開催する。

平成13年度 新規採択一覧(15/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-8	1	3111	学校教育とタイアップした人材育成とその普及啓蒙	特定非営利活動法人北上川流域連携交流会	理事長	平山 健一	岩手県	学校教育関係者とタイアップした人材育成とモデル実験及びその成果を踏まえたシンポジウムの開催。
13-3-2)-18	1	3111	木炭による河川水質浄化活動を通じた河川愛護運動	栃木県立宇都宮工業高等学校土木科	教諭	黒崎 照夫	栃木県	今市市の森林で森林体験活動により、間伐材伐採を行い、切り出した間伐材を用いて炭を焼き、鶴田川(住宅地付近)でこれを用いた水質改善を行う。学校と自治会とが連携し水質浄化活動を通じ、河川への愛護心を育成する。
13-3-2)-52	1	3111	大分県八坂川における環境教育のためのフィールドノート作り	八坂かっぱクラブ	事務局長	綿末しのぶ	大分県	八坂川は河川改修の為、その姿を大きく変えた。小中学生など誰もが環境教育の場として、今ある八坂川を活用できるように、フィールドノートの作成を急ぎたい。
13-3-3)-13	1	3111	雄神川子ども『水』探偵団—よみがえれ雄神川—	井原市立西江原小学校4年生わくわく隊	教諭	川上雄二	岡山県	総合的な学習の時間を使って、近くを流れる雄神川の汚れの原因を究明し、地区民にどうすればきれいな川にもどすことができるかを子どもたちの活動を通してアピールする。
13-3-2)-37	1	3111	河川愛護への支援活動	天の川を美しくする会	代表	谷井昭雄	大阪府	一級河川天野川を美しくする会のイベントへの支援・協賛により市民への河川愛護の啓発を行う
13-3-2)-36	1	3111	河川愛護への支援活動	京都府治水協会	会長	四方八洲男	京都府	河川愛護団体の活動や河川に関するイベント、河川愛護の啓発活動等に対して支援を行う。
13-3-2)-49	1	3111	水無川環境梅っ子調査・活動隊	島原市立第五小学校	校長	峯 彬	長崎県	火砕流や土石流で被災して10年が経過した水無川とその周辺において、児童が環境調査や親子によるキャンプ、クリーンウォーク等の体験活動を実施する。
13-3-2)-35	1	3111	河川愛護への支援活動	福井県河川愛護連絡協議会	会長	小山和男	福井県	河川愛護イベントの開催、河川の自然や生物の観察、水質調査、河川美化活動等を実施する。
13-3-2)-42	1	3111	新町川等の河川愛護と川を生かしたまちづくり活動	特定非営利活動法人新町川を守る会	理事長	中村英雄	徳島県	新町川等の河川清掃活動を基本に、ラブリバーフェスティバル活動、リバークルージング活動、リバーサイド修景活動等、川を生かしたまちづくり活動の継続実践。

平成13年度 新規採択一覧(16/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-8)-13	1	3111	川の365日カレンダーの作成	川の365日実行委員会	事務局	中村幸子	熊本県	川をとりまく歴史、文化、くらし、自然等をほりおこし、川を中心とした365日の動きをカレンダーとしてまとめ人々の川への関心を高める素材とします。
13-3-8)-14	1	3111	菊池川キッズ探検隊	社団法人菊池青年会議所	理事長	杉田滋人	熊本県	清流菊池川流域の子供達が、故郷の菊池川の上流から下流の河口までを実際探検し、川と自然の重要性を学習しながら、川の今後の在り方を考えていく。
13-3-2)-41	1	3111	川に学ぶ体験活動発表交流会	川に学ぶ体験活動発表交流会実行委員会	委員長	池田満之	岡山県	川に学ぶ社会の創造に向け、全国各地の実践活動団体・学校等が一同に会し、体験活動発表と情報や意見の交換を行う交流会を開催する。
13-3-2)-43	1	3111	勝浦川上流域における参加育成型河川環境学習活動	環境と川と教育を考える研究会	代表	上月康則	徳島県	2級河川・勝浦川の上流域で、地域住民・専門家・行政等の協働による河川魅力調査・参加型環境学習プログラムづくりを行い、環境学習指導者を育成する。
13-3-2)-44	1	3111	河川愛護団体等への助成事業	徳島県河川協会	会長	野村 靖	徳島県	徳島県内における河川愛護活動等への助成。
13-3-2)-26	1	3111	リバーインストラクター養成プログラム開発とその学習効果	特定非営利活動法人多摩川センター	代表理事	横山十四男	東京都	パートナーシップ型河川環境管理や総合的学習等の要請に対応できるリバーインストラクター養成プログラムの開発と地先の拠点をういた一部のカリキュラム実施による学習効果についての研究。
13-3-2)-34	1	3111	ビオトープづくり(庭づくり)夢プロジェクト	静岡市立大河内中学校	校長	市川 重男	静岡県	安倍川の自然をいかしたアマゴの飼育やワサビの栽培を取り入れた学校ビオトープづくりを通して、川や森と人とのかかわりや文化を学ぶ。
13-3-2)-2	1	3111	環境教育実践活動の指導者(初級、中級)育成及び登録事業	特定非営利活動法人帯広NPO28サロン	理事長	千葉シゲル	北海道	環境教育実践活動及びこれらの活動のためのプログラム作成及び指導者(初級、中級)のリーダーとなる人材を育成する。また、これらの人材を登録し、活動の支援のために派遣する。
13-3-7)-1	1	3111	「水がきジャンボリーinとかち」の開催	(財)十勝エコロジーパーク財団	理事長	岩野洋一	北海道	川遊び、環境教育などのリーダー育成(人材育成)と、「水辺の楽校」の先進的な活動の実践等を図る。

平成13年度 新規採択一覧(17/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-3	1	3111	石狩川にチョウザメを呼び戻す市民運動を通しての河川環境整備啓発活動	特定非営利活動法人茨戸川環境市民フォーラム北海道	代表理事	丹羽祐而	北海道	茨戸川(旧石狩川)の環境活動を行い、昔生息していたチョウザメを呼び戻す市民運動を通し、石狩川と茨戸川に囲まれた流域地域の大規模自然公園化をめざす。
13-3-2)-4	1	3111	河川愛護・環境教育活動	北海道河川環境整備促進協議会	会長	菊谷勝利	北海道	当協議会加入市町村の愛護団体等が行う地域固有の河川に係る生活・文化等の環境整備活動の推進と育成を図る。
13-3-7)-2	1	3111	幾春別川の遊びと学びの親水事業	三笠の湖・川・緑を愛する会	会長	高篠和憲	北海道	幾春別川の清流を活かして、市民と流域住民に「遊びと学び」を通して、川に親しむ事業を行う。特に今年度は「北海道水辺の楽校サミット」を開催する。
13-3-2)-5	1	3111	釧路川流域保全普及啓発事業	釧路国際ウェットランドセンター	理事長	綿貫健輔	北海道	地域住民等を対象に釧路川の価値について理解を深め、当該河川の保全・修復と利用について理念の普及啓発を推進する。
13-3-2)-32	1	3111	環境教育を含めた、堀川の再生に向けての研究・実践活動	堀川とまちづくりを考える会	会長	浦野 三男	愛知県	名古屋市の『母なる川』堀川の再生を、沿川の小学校と交流をはかりながら、幅広い層の市民に呼びかける。
13-3-2)-33	1	3111	水辺の環境学習指導者育成事業	名古屋市水辺研究会	代表	國村 恵子	愛知県	庄内川において学校での総合学習、地域の団体やエコクラブ、行政の水辺教室等で活躍できる指導者を育成し、川を知り、川に学ぶ流域住民の活動の充実を図る。
13-3-8)-7	1	3111	子どもと共に川を遊び川を楽しむ環境づくり	豊坂小学校区コミュニティ推進協議会	代表	大須賀好夫	愛知県	かつて地域人と共生してきた川の回復をめざすために子どもを核として、川に親しむ環境と活動の提供、親しみ方を学ぶビオトープづくりと、副読本、ビデオの作成。
13-3-2)-50	1	3111	河川環境保全(生活排水対策)リーダー養成事業	熊本県八代市	市長	沖田嘉典	熊本県	生活排水対策を目的としたリーダー養成講習会を開催することにより住民の自主的な環境保全活動と行政の枠を越えた流域住民の連携した取組みを促進する。
13-3-2)-6	1	3111	あおもりの川を愛する会川くんだり	あおもりの川を愛する会	会長	佐々木幹夫	青森県	ボートによる川くだりにより、川と同じ目の高さで川を体感し、川の個性を見極め、人々に川を知ってもらう。

平成13年度 新規採択一覧(18/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-23	1	3111	川の日フェア	川の日フェア実行委員会	代表	高本 正彦	東京都	川に関する行政や住民の活動などの展示、情報交換を行い、住民と行政のパートナーシップの育成を図り、河川愛護に役立てていく。
13-3-8)-8	1	3141	東海豪雨水害資料集(矢作川流域編)の作成	豊田市矢作川研究所	会長	鈴木公平	愛知県	平成12年9月11-12日に発生した矢作川流域における水害の記録・検証および洪水を河川生態系の一部と捉えた河川のあり方について啓発する資料の作成。
13-3-1)-4	1	3151	水都浪漫(閘門あれこれ)	キャナルネット～運河とふれあうまちづくりの会	代表	太田忠雄	宮城県	全国に現存する15箇所の閘門の内、稼動している7箇所の閘門を調査研究し、閘門専門のパンフレット(小冊子)を作成する。
13-3-5)-2	1	3151	河川ドキュメンタリー番組黒部川の総合土砂管理(仮題)	財団法人富山・水・文化の財団	理事長	上田 宗彦	富山県	宇奈月ダムの完成に伴い、総合土砂管理が始まった黒部川。日本を代表する急流河川の流域の自然と、水害の歴史、治水の取り組みを総合的に紹介する。
13-3-4)-2	1	3151	水使用合理化等造水技術に関する普及啓発活動	財団法人造水促進センター	理事長	藤村 宏幸	東京都	廃水再生利用、淡水化、水使用合理化等の造水技術に関する講演会を開催するとともに水使用合理化普及ビデオを製作する。
13-3-5)-3	1	3151	テレビ特別番組「天竜川と生きる～36災害から40年～」	信越放送株式会社	代表取締役	塩沢鴻一	長野県	36災害から40年が過ぎ、36災害を知らない世代も多くなっています。当番組は21世紀に生きる私たちが自然の猛威と防災事業を正しく理解する必要があることを伝えます。
13-3-3)-5	1	3151	「川の日」の普及事業と文化講演会及び模型の作成	千葉県立関宿城博物館	館長	高木博彦	千葉県	7月7日の「川の日」にちなみ、河川土木技術の建造物である関宿水閘門の歴史・文化を知り、河川文化講演会を実施する。
13-3-2)-14	1	3151	長木川の環境保全をめざす市民活動の推進	大館自然の会	会長	明石良蔵	秋田県	地域の人々が、郷土の川の生物多様性と健全な生態系の存在に気づき、河川環境保全の理解を深めることができるように学習・体験の行事を企画し、着実に実施する。
13-3-4)-1	1	3151	水のシンポジウム月山フォーラム2001～21世紀は「水」の世紀～	山形県西川町	町長	横山万蔵	山形県	国内及び世界における水資源の諸情勢を知ることにより、水の価値を国民が改めて認識する場として、また、水の有効利用方法を検証するシンポジウムを開催。

平成13年度 新規採択一覧(19/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-1)-9	1	3151	ビデオ「魚の住みやすい川づくり魚道」制作及び上映会事業	東京シネ・ビデオ株式会社	社長	横川 元彦	東京都	魚道をテーマとしたビデオの制作、上映会及び講演会活動を行い、魚の住みやすい川づくりについて啓発活動を行う。
13-3-1)-10	1	3151	八坂川副読本の作成	サイエンティスツエージェンシーアンドパートナーズ	代表理事	堀口瑞穂	神奈川県	大分県杵築市八坂川の研究調査資料、郷土資料をまとめ、環境教育素材を作成することにより、人と河川環境の関わりについて啓発を行う。
13-3-1)-6	1	3151	土浦市における霞ヶ浦水質浄化対策ビデオ作成	茨城県土浦市	市長	助川弘之	茨城県	霞ヶ浦の水質浄化対策について、ビデオを作成し子供達や市民に水質浄化に対する意識の啓発を行う。
13-3-1)-5	1	3151	最上川副読本の企画発刊	本合海エコロジー	会長	木村 正	山形県	最上川文化と漁法についての副読本を上流下流の連携により企画発刊する。
13-3-4)-3	1	3151	利根川流域における利水、治水施設等に関する見学会	日本河川開発協会	会長	高橋 裕	東京都	河川と人間との結びつきを歴史的にみるとともに、河川および流域の現状や社会的背景、地理的要因などを解析する。
13-3-5)-1	1	3151	FM連続ラジオドラマ「雄物川物語」	湯沢雄勝水資源開発研究会	代表	鵜沼 順二郎	秋田県	湯沢市のコミュニティFM局の「FMゆーとびあ」を利用し雄物川流域に伝わる伝説や言い伝えを題材にしたラジオドラマを制作、放送を行う。
13-3-1)-2	1	3151	土淵川に生息する水生昆虫・鳥のパンフレット作成	親しめる川づくりサークル	サークル	南 直之進	青森県	川に親しみ、川を愛する心の醸成を子供の時から育むため、弘前市内全小学校に教材としてパンフレットを配布する。
13-3-3)-1	1	3151	劇団櫓の音～市民劇を通して川を考える～	劇団櫓の音	監事	奈良 正	青森県	岩木川と共発展してきた五所川原市の歴史や、水と戦ってきた先人たちの人間模様を、演劇を通して広く市民に伝え、川のあり方を考えていく。
13-3-1)-3	1	3151	北上川中流域の総合学習教材の作成	特定非営利活動法人北上川中流域エコミュージアム推進会議	理事長	高杉良吉	岩手県	小中学校総合学習等に係わる、北上川中流域を総合的にとらえた水系データベース「水と私たち」の映像を主体とした教材の作成。

平成13年度 新規採択一覧(20/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-5)-4	1	3151	加藤登紀子さんとつくり、うた おう琵琶湖未来のうたを	登紀子倶楽部in滋賀	代表	大崎淳子	滋賀県	子供達から琵琶湖に関わる「フレーズ」を募集し、このフレーズをもとに加藤登紀子さんが歌をつくり、「琵琶湖周航の歌」にかわる、21世紀に歌い継がれていくあたらしい琵琶湖のうたをつくり全国に広める。
13-3-2)-46	1	3151	「残したいメダカのいる風景」 フォトコンテスト	日本めだかトラスト協会	会長	岩松 鷹司	高知県	全国的に激減しているメダカの生息環境を保全に対する国民的関心を高める目的でフォトコンテストを実施し、優秀作品をパネルや写真集にして、展示・配布する。
13-3-1)-17	1	3151	副読本「させぼの川、遊ぼう・ 知ろう・学ぼう」の企画・発刊	ふるさと自然の会	会長	小西宗十	長崎県	河川の持つ多面的機能を紹介し、理解を深めるための副読本を作成する。
13-3-1)-16	1	3151	仁淀川環境学習用副読本作成 及び連携環境啓発事業 (にょどエコリバー再発見事業)	仁淀川広域市町村 圏事務組合	管理者	伊藤建男	高知県	仁淀川流域の河川環境への理解を深めるため、小学生向け環境副読本を作成。連携事業として、小学生環境体験交流、環境検証ツアー、水切り袋による啓発を行う。
13-3-2)-39	1	3151	生命かがやけ東条川2001	加東郡東条町立東 条東小学校	校長	藤原 明	兵庫県	全校児童が東条川を軸に、生活科及び総合的な学習として河川環境について学び、保護者や地域と連携しながら、広範な河川愛護活動を実施する。
13-3-1)-18	1	3151	「川内川の自然」(仮題) 図鑑 刊行・配布事業	鹿児島県の自然を記録 する会	会長	福田晴夫	鹿児島県	歴史的な視点も取り入れた総合的な川内川の自然図鑑を刊行し、鹿児島県内の学校等に配布して、人と河川のあるべきつきあいを考える資料に供する。
13-3-2)-47	1	3151	河川愛護団体等助成事業	高知県土木協会	会長	元木益樹	高知県	高知県内の河川愛護団体等が行う河川美化活動愛護活動等に対し、その経費の全部又は一部を助成する。
13-3-8)-10	1	3151	アカウミガメ保護シンポジウム IN明石	兵庫県明石市	市長	岡田進裕	兵庫県	「アカウミガメ保護推進会議IN明石」を開催し、参加者が今後の海岸環境保全のあり方等の意見交換を行うことにより、地域一体の共通認識を確立する。
13-3-2)-38	1	3151	人と水と生き物との関わりを 考える親子シンポジウム	財団法人大阪湾ベイ エリア開発推進機構	会長	秋山喜久	大阪府	湖沼・川・海という水の循環と生物・生態系を流域全体で捉え、人と水と生き物との関わりを21世紀を担う親子で考えるシンポジウム及びイベントを開催する。

平成13年度 新規採択一覧(21/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-40	1	3151	2001年全国雑木林会議－神戸大会・六甲森のフェスティバル	2001年全国雑木林会議実行委員会	実行委員	服部 保	兵庫県	毎回持ち回りで行う民間レベルの全国大会である「全国雑木林会議」を2001年神戸で開催し、震災復興の地・神戸から「人と森とのかかわり」を全国に発信する。
13-3-1)-8	1	3151	越谷の河川・水辺の生きもの調べにもとづくガイドブックの発行と講演会等の開催	平方エコネットプロジェクトチーム	代表	古谷愛子	埼玉県	越谷の中川、元荒川、古利根川等の生きもの調べを行い、ガイドブックにまとめて発行し、講演会、写真展を開催して、河川・水辺と自然への市民の理解を得る。
13-3-1)-1	1	3151	鶴川河口の保全、PRに関わるテキスト(副読本)の作製	ネイチャー研究会inむかわ	代表	小山内恵子	北海道	国際的に貴重とされる鶴川河口をランドワーク的活動で調査・取りまとめ、テキスト(副読本)を作成する。
13-3-1)-14	1	3151	「子どもを育む私達の川、狩野川上流は今」副読本作成	わんぱく文庫エコくらぶ	代表	田所雅子	静岡県	狩野川上流の歴史・文化や自然環境を調べ、生活との関わりや、川での自然学習、環境教育活動に役立つ副読本を作成し、河川愛護の啓発活動とする。
13-3-4)-7	1	3151	雨水の貯留による洪水防御とその利用	雨水利用と緑化を進める会	会長	臼井 章二	愛知県	自然の恵み、雨水のより効果的な利用技術と効率アップを研究として普及させ、降雨ピーク時の河川流量の減少を図る。
13-3-1)-13	1	3151	木曾三川、その流れと人とのさまざまな係わり	木曾川文化研究会	代表	久保田稔	愛知県	人と水との戦いや川の恵みの歴史を探り、上下流域で異なる風土と川と人との多様な係わりに関する副読本作成。
13-3-1)-15	1	3151	静岡県、愛知県における水辺環境の保全と環境教育のための資料(水環境絵地図)作成	特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオー	理事長	馬塚 丈司	静岡県	これまでに制作した遠州灘、天竜川、浜名湖の環境絵地図をもとに水辺の観察ポイント(観察路)を一体的連帯感を持った絵地図に表し環境保全と教育の資料とする。
13-3-2)-30	1	3151	河川美化報償特別事業	岐阜県河川協会	会長	浅野 勇	岐阜県	県内河川愛護団体が実施する河川清掃、イベント等の活動に対し助成を行う。
13-3-3)-11	1	3151	河川文化講演会等の開催及び、新聞広告等による広報活動事業	社団法人中部経済連合会	会長	安部 浩平	愛知県	21世紀の中部の持続的発展の為、水の総合利用の視点から、講演会の開催、新聞広告等により幅広い啓発活動を行う。

平成13年度 新規採択一覧(22/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-31	1	3151	長良川河川環境保全と空間利用対策	特定非営利活動法人長良川環境レンジャー協会	理事長	藤崎 義治	岐阜県	長良川全流域の河川環境保全と安全な空間利用の創出並びに流域ネットワークづくりとその指導者の養成。
13-3-1)-19	1	3151	おきなわ水辺自然・環境副読本の作成	おきなわ環境クラブ	会長	平川節子	沖縄県	川のない島の地下水、河川とマングローブ、干潟やサンゴ礁について、形の改変や水質汚濁の現況と保全策を解説する沖縄の水辺自然・環境の副読本作成。
13-3-1)-7	1	3151	「鬼怒川・小貝川水利読本」の編さん	鬼怒川・小貝川流域を語る会	会長	永瀬 純一	茨城県	両川の全容と水利利用の仕組みを河川法改正に伴う環境再生の視点から捉え、総合教育にも役立つ副読本的性格をもった啓発書として、広く流域市町村に配布する本の編纂。
13-3-1)-11	1	3151	第三回汽水域セミナー「東京湾の汽水域環境復元の世紀」開催に伴う資料集作成	特定非営利活動法人よこはま水辺環境研究会神奈川県	理事長	淡路宣男	神奈川県	東京湾の汽水域の環境復元をテーマとしたセミナーを開催するにあたり、配布する資料集を作成する。
13-3-2)-45	1	3151	四国三郎吉野川河川環境保全啓発事業	吉野川フェスティバル実行委員会	実行委員	中村英雄	徳島県	住民3万人による河川一斉清掃、吉野川クリーンアップ大作戦と吉野川の恵みに感謝する上流・下流・海区の地域交流イベントの開催。
13-3-4)-4	1	3151	水を考えるシリーズNo.10「生活と水」の制作配布と「第9回水のエッセイコンテスト」の実施	水のエッセイコンテスト実行委員会	実行委員	清水 誠	東京都	高校生を対象に水資源の大切さを解説する副読本を制作・配布すると同時に、水に関するエッセイを募集し、水資源・河川・ダムに関する啓発運動を行う。
13-3-4)-5	1	3151	水とのふれあいフォトコンテスト	水の週間実行委員会	会長	近藤 徹	東京都	「水とのふれあい」を基本にしたテーマの写真作品を対象とし、水の週間行事の一環として実施するフォトコンテストである。
13-3-1)-12	1	3151	大岡川学校副読本No.2作成、大岡川流域環境教育活動、インターネットによる広報	大岡川流域連携市民会議	事務局長	鈴木 佳昭	神奈川県	大岡川学校副読本の作成と総合的学習を地域から支えるための教育プログラムの企画・作成と人材を育て市民感覚による学校と地域の新しいパートナーシップの構築を行います。
13-3-4)-6	1	3151	工業用水道の海外情報交換等ビデオテープの作成	社団法人日本工業用水協会	会長	神田真秋	東京都	工業用水道が地盤沈下の防止や地域産業の発展に貢献している役割等を映像と言語(英語版)によるビデオを作成し、第3回世界水フォーラム等で活用することにより、企業を誘致して地域の発展を図るとともに国際貢献に資する。

平成13年度 新規採択一覧(23/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-8)-17	1	3151	水力発電周辺及び下流域における安全対策と啓発	社団法人電力土木技術協会		石井 清	東京都	
13-3-4)-8	1	3151	「水資源の有効利用に関するセミナー」事業	社団法人日本沙漠開発協会		久野 彦一	東京都	
13-3-7)-7	1	3161	2003年世界水フォーラムに向けての流域水循環システム、流域治水の啓発活動	流域の水循環型社会をすすめる会	会長	高橋 裕	東京都	流域のモデルケースを中心に、実態調査、啓発活動を行い、流域の住民、行政、諸団体との交流をはかりながら、研究会、シンポジウムを開催し、流域を中心とした循環型社会を構築するための合意形成のあり方を提言する。
13-3-7)-5	1	3161	北浦の水辺空間を活かした交流活動促進のためのネットワーク形成	行方地域振興研究会茨城県	会長	谷村 裕	茨城県	北浦の水辺空間を活かした交流活動促進のためのネットワーク形成の検討と水辺環境の保全・活用を啓発する「フォーラム」の開催及びパンフレットの作成。
13-3-2)-19	1	3161	第12回全国トンボ市民サミット千葉県市川大会の実施	第12回全国トンボ市民サミット千葉県市川大会実行委	実行委員	佐野郷美	千葉県	本大会では、都市部における水循環の回復や自然復元の取り組みをトンボをシンボルとして、全国に発信し、交流を深め、その輪を広げることを目的とする。
13-3-7)-8	1	3161	みんなで考える”いい川””いい川づくり”2001年「川の日」ワークショップの実施	「川の日」ワークショップ実行委員会	実行委員	森 清和	東京都	”いい川”とは何かをテーマに、全国の住民と河川管理者双方から事例を公募し、一堂に会して公開審査方式でワークショップを行う。
13-3-8)-3	1	3161	平成13年度「森と湖に親しむ旬間」全国行事事業	「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会	会長	岡崎 洋	東京都	「森と湖に親しむ旬間」及びその意義等について国民に周知し、ダムや水資源など水資源に対する国民一般の関心と理解を深め、円滑な水資源開発に資するため、全国対象公募事業等を行う。
13-3-2)-29	1	3161	三峰川下エリア環境整備(市民・行政・パートナーシップ型環境整備)	三峰川みらい会議	代表	織井 秀夫	長野県	「三峰川みらい計画」に基づくFエリアの事業実施に当り、関係行政学校、PTA、保育園などと協議をし、計画づくりを行ってきた市民団体として、独自の事業を行う。
13-3-8)-11	1	3161	「ふるさとの川をつくり育てる」全国大会	「ふるさとの川をつくり育てる」全国大会実行委員会	実行委員	藤田忠夫	山口県	「ふるさとの川整備事業」を題材として、従来の川を「つくる」意識から「つくり育てる」視点をテーマに関係者が集い、新たな交流と今後の展望の発進を進める。

平成13年度 新規採択一覧(24/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-7)-9	1	3161	海を育む川づくりの啓発事業	日本海洋環境保全研究会	会長	小川貢三郎	東京都	流域及び都市住民を含む里山、河川、海に対する問題意識調査と「海を育む川づくり」構想の啓発。
13-3-7)-12	1	3161	大岡川流域ネットワーク活動	大岡川流域まちかわ衆	代表世話	宮村 忠	神奈川県	大岡川リバーボランティア養成講座等を行い流域のネットワーク化を図る。大都市横浜での実験活動。
13-3-7)-3	1	3161	北上川心のバリアフリー交流事業	ハッピーハウス	所長	千葉 知子	岩手県	精神障害者と地元住民との交流、協働のための「心のバリアフリー」を目指した河川空間活用と相互理解のためのフィールドワーク。
13-3-7)-14	1	3161	信濃川川の陣	川イベント実行委員会	会長	吉田 薫	新潟県	川を使用したイベントを市民レベルで開催し、水に親しみながら良い環境を維持していくための啓発活動として事業を実施。対岸へ呼びかけ、広域的なイベントとして確立したい。
13-3-7)-6	1	3161	利根運河における環境マップづくりを通じた水辺関連団体の連携強化	利根運河研究会	代表	圓崎直之	千葉県	利根運河の自然環境や歴史資料および市民活動状況の調査を環境マップとしてまとめ、その活動を通じて流域のパートナーシップを育成する。
13-3-2)-24	1	3161	グラウンドワーク連携による河川環境改善活動	財団法人日本グラウンドワーク協会	理事長	都留 信也	東京都	市民・企業・行政のパートナーシップに基づくグラウンドワークによる流域連携活動、環境教育活動、クリーンアップ活動等の全国活動での実施とシンポジウムの開催。
13-3-7)-13	1	3161	多摩川源流・中下流交流及び全国源流ネットワーク事業	多摩川源流研究所	所長	中村文明	山梨県	水を生み出す源流域に焦点を当て、水環境や自然環境に関する国民の理解を深めることを目的に、源流と流域との交流及び全国の源流のネットワーク事業を実施する。
13-3-7)-4	1	3161	北上川流域の交流	特定非営利活動法人ひたかみ水の里	代表理事	新井偉夫	宮城県	河川環境流域活動、野外体験スクール、河川環境パトロール、リバーマスターズクール等の事業。
13-3-2)-25	1	3161	水循環と生態系について、シンポジウム、資料制作、ワークショップによる国民的啓発事業	NPO法人自然環境復元協会	理事長	杉山恵一	東京都	水循環の復元と生態系について、シンポジウムの開催、資料集の制作、ワークショップ等を通し、水の大切さや生態系の保全についての啓発を国民一般に対して行う。

平成13年度 新規採択一覧(25/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-2)-51	1	3161	佐伯市周辺の河川におけるボート・カヌーを利用した自然体験活動	児童館・放課後児童クラブ連絡会	代表	西山 隆	大分県	番匠川流域でボート・カヌーを利用した自然観察会の実施各施設に自然観察員・コーディネーターを育成し配置する。
13-3-7)-23	1	3161	第10回全国川サミットin揖保川	全国川サミットin揖保川実行委員会	町長	八木捷之	兵庫県	一級河川名を市区町村名に用いる全国の自治体と揖保川流域市町が一同に会し、開催テーマを基調に、治水、利水、親水に関して相互理解を深める諸事業を展開する。
13-3-7)-24	1	3161	水とくらしを結ぶ流域リレーワークショップー太田川せせらぎカレッジー	21世紀のまちづくりを語る会	代表幹事	福田茲久	広島県	人材育成、地域活性化、新産業起こしを視点に「太田川せせらぎカレッジ」を開催。川や水を通じた上下交流や持続可能な循環型地域づくりへのきっかけとする。
13-3-7)-21	1	3161	「第4回全国宮川サミットin大江町」の開催	宮川サミット実行委員会	京都府支	佐藤克巳	京都府	全国に51河川ある宮川の関係者が集い、地域と川の係わりについて議論するサミットを、歴史を持つ京都府大江町に於いて開催する。
13-3-8)-15	1	3161	第10回全国市町村交流レガッタ新富大会	宮崎県新富町	町長	太田直満	宮崎県	参加市町村住民の健康増進並びに交流と、ボート競技の普及拡大を図るとともに、河川愛護精神の涵養を図ることを目的とした、全国規模のボート大会です。
13-3-2)-28	1	3161	関川の河川敷における人と馬のふれ合い事業	あにまるネットワークポニーズ	代表	早津 薫	新潟県	1. ポニーカーニバル開催事業、2. ポニー牧場建設の為の施設整備、3. 会員の為の視察・研修。
13-3-2)-15	1	3161	国際カヌー交流会2001	21世紀の流域連携と河川愛護の思想啓蒙をすすめる会		二坂信邦	秋田県	全国から参加者を募り、雄物川において、カヌークルーイングを行い、川についての理解を深め啓発普及を図る。
13-3-8)-9	1	3161	雲出川における流域交流を推進するための各種イベントの実施	社団法人久居青年会議所	理事長	松寄博司	三重県	雲出川流域の住民が水の大切さを再認識し、豊かな清流と環境を守るため、流域住民を巻き込み活動を展開して、次世代に素晴らしい雲出川を残していくことを目的とする。
13-3-7)-11	1	3161	あらかわ学会	あらかわ学会	会長	宮村 忠	東京都	あらかわ学会の平成13年度年次大会(活動・研究発表会)を開催し、発表論文を印刷作成する。

平成13年度 新規採択一覧(26/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-3)-16	1	3161	全国なぎさシンポジウムINあおもり	全国なぎさシンポジウムINあおもり実行委員会		木村守男	青森県	
13-3-6)-3	1	3171	集水域を単位とした持続可能な地域づくりに関する国際フォーラムの開催	財団法人日本生態系協会	会長	池谷 奉文	東京都	集水域を単位とした地域づくりに関する国際会議を開催し、その結果をまとめ、広く配布し、今後の持続可能な地域づくりのあり方を考える。
13-3-6)-4	1	3171	応用生態工学の国際的ネットワーク構築(その2)	応用生態工学会	会長	山岸 哲	東京都	生態学と土木工学の境界領域である応用生態工学の国際的発展のため海外有識者を招聘し、情報と意見の交換を通じて相互理解を図る。第2回ヨーロッパから招聘計画。
13-3-6)-5	1	3171	湿地・河川流域の管理と保全に関する国際シンポジウム	国際湿地保全連合日本委員会	会長	辻井達一	東京都	湿地・河川流域の包括的な管理・保全アプローチに関してわが国と欧米からの事例紹介とディスカッションを通して共通の問題点を認識し一般の意識向上を図る。
13-3-3)-2	1	3171	水際線シンポジウム	茨城県河川協会	会長	山口武平	茨城県	本県は水際線が長く、水辺の周囲には良好な自然環境が残されているので、この水際線を軸とした地域づくりについて県民とともに考えるためシンポジウムを開催する。
13-3-6)-8	1	3171	河川利用に関する安全対策と環境教育	日本ロイヤルライフセイビング協会	代表	瀧田信之	神奈川県	2002年の総合学習課医師におけるフィールドとしての河川環境の利用に対する安全対策、教育・啓蒙、指導者養成及び環境教育の実施。
13-3-6)-6	1	3171	国際シンポジウム「アジア太平洋地区での水文・水資源事情とIT利用」の開催	水文・水資源学会	会長	虫明 功臣	東京都	アジア・太平洋地域では、猛暑、洪水、渇水、異常低温などが発生しており、1)水文・水資源から見た特性比較、2)ITの利用化の効果と可能性、3)情報ネットワークの設置に必要性、を議論し日本の国際的貢献策に関する国民的合意形成を進める。
13-3-7)-22	1	3171	第5回世界閉鎖性海域環境保全会議関連分科会の開催	第5回世界閉鎖性海域環境保全会議実行委員会	会長	近藤次郎	兵庫県	陸域と海域の相互作用を踏まえた上での世界の閉鎖性海域の環境保全についての国際会議を開催し、地域、世代、組織を超えたパートナーシップの形成と具体的な方策を提言する。
13-3-6)-10	1	3171	第9回世界湖沼会議	第9回世界湖沼会議実行委員会	実行委員	山田新二	滋賀県	第9回世界湖沼会議を開催し、世界の湖沼が直面する生態系の危機、淡水資源の枯渇などの深刻な課題について世界中の主要関係者が解決策を具体的に議論する。

平成13年度 新規採択一覧(27/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-8)-12	1	3171	水車プロジェクト	国際ボランティアを育てる会(AIM)	代表	井本勝幸	福岡県	自転車竜骨水車等による河川からの揚水を実施し、これらを途上国の農業・緑化活動に役立てつつ、「水の学校」として地域青少年の健全育成教育に貢献させ、「水」による循環型社会の形成に資する。
13-3-6)-1	1	3171	河川・海岸・河口地形学に関する国際水理学会シンポジウム	国内組織委員会事務局	事務局長	清水康行	北海道	国際交流を通じて河川等に関する国民の相互理解を深めることを目的として、国際水理学会シンポジウムを開催する。
13-3-6)-2	1	3171	農業地帯における河畔緩衝帯の水質浄化能の解析とその設置法に関する国際ワークショップ	河畔緩衝帯に関する国際会議企画運営委員会	委員長	波多野隆介	北海道	農業地帯の河川水質の改善、浄化のため河畔に設置する河畔林や湿地等の河畔緩衝帯の浄化能や設置法に関する国際研究集会と、一般人を対象とする公開討論の開催。
13-3-6)-9	1	3171	21世紀の水環境づくり国際会議(岐阜県・滋賀県・三重県・福井県4県共催事業)	21世紀の水環境づくり国際会議実行委員会	代表	梶原 拓	岐阜県	水環境保全に携わる国内外の行政関係者、NGOなどを招き、活動事例発表、パネルディスカッション等を内容とする国際会議を開催する。
13-3-6)-7	1	3171	第3回世界水フォーラムキックオフミーティング	第3回世界水フォーラム事務局	事務局長	尾田榮章	東京都	2003年3月に京都で開催される第3回世界水フォーラムの日本国内外への啓蒙普及を図るためのキックオフミーティングとして、「国際水問題と2003年京都会議に向けて」(仮称)の国際シンポジウムを開催する。
13-3-3)-9	1	3181	阿賀野川フェスティバル(仮称)運営	蒲原塾	代表	村田 稔	新潟県	阿賀野川の水辺プラザ予定地で体験型のイベントを開催し、阿賀野川の自然や文化に関心を持っていただくと共に、流域の交流や連携の促進をはかる。
13-3-3)-10	1	3181	第6回水シンポジウム2001inとやま	第6回水シンポジウム2001inとやま実行委員会	委員長	池田駿介	富山県	水が自然や人に与えるさまざまな恩恵や河川を中心とした水の諸問題について議論を深め、水と人との好ましい関係を全国に発信することを目的としてシンポジウムを開催する。
13-3-3)-6	1	3181	江戸川下流舟運シンポジウムの開催等事業	千葉県松戸市	市長	川井敏久	千葉県	江戸川流域2市2区が連携し、江戸川下流舟運シンポジウムを開催し、流域住民の理解を得る事業
13-3-3)-15	1	3181	「四万十ドラゴンラン」～全流域人力移動まるごと体験交流活動～	(社)西土佐環境・文化センター四万十楽舎	会長理事	井上 一	高知県	四万十川流域の高校生が、源流から河口まで、徒歩、自転車、カヌーで移動しながら、流域の自然や森林・河川の保全活動を体験調査し、交流を深め情報を発信する。

平成13年度 新規採択一覧(28/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-7)-18	1	3181	「川で遊び、水に学び、森を守る」子供達のテーブルディスカッション	ドラゴンリバー交流会	会長	嶋田 正	福井県	ふる里の山や川での遊びや調査研究活動を通して21世紀の主役たる子供達の自然との共生ビジョンを語り合う会議
13-3-2)-48	1	3181	第3回さが水環境フェア	森と海を結ぶ会	代表	半田 駿	佐賀県	佐賀県内の水環境に係わる20団体により、第3回さが水環境フェアを開催し、広く一般市民の関心を集め、理解を深める啓発活動を行う。
13-3-3)-14	1	3181	市民フォーラム「愛媛の河川整備と水環境」	愛媛大学社会資本整備研究会	会長	矢田部龍一	愛媛県	愛媛の主要河川整備の必要性和水環境問題についての市民フォーラムを官学が協力して開催する。そして、市民の河川整備の必要性に関する認識を深めてもらう。
13-3-3)-12	1	3181	地下水地盤環境に関するシンポジウム2001	地下水地盤環境に関する研究協議会	座長	鶴巻 道二	大阪府	河川水と地下水と地盤の相互作用について環境問題的な視点からシンポジウムを開催する。
13-3-2)-13	1	3181	川づくり、まちづくり講習会の開催	川づくり、まちづくり講習会実行委員会	委員長	新井偉夫	宮城県	国土交通省地方整備局、都道府県、市町村の行政担当者を対象として、多自然型川づくりや地域と連携した川づくりに関する講習会を開催する。
13-3-7)-16	1	3181	森づくりセミナー～豊川流域を考える市民講座～	特定非営利活動法人穂の国森づくりの会	理事長	神野信郎	愛知県	流域の自然環境や森林保全の重要性を考える市民講座を開講し、東三河の森が育む「豊川」について学ぶ。
13-3-7)-17	1	3181	宮川流域交流事業(子ども川サミット・流域体験ツアー・写真コンテスト)	宮川流域ルネッサンス協議会	会長	森下 隆生	三重県	一級河川宮川は、総延長約90km、14市町村で流域を構成している。上流、中流、下流がそれぞれに交流し、お互いを理解し次世代以降に美しい宮川を継承してもらうために、流域交流事業を実施する。
13-3-7)-20	1	3181	流域住民に地域の自然、伝承等に基づく「一体感」を形成する啓発事業	湖沼会議市民ネット	代表	日高 敏隆	滋賀県	安曇川流域の朽木村と新旭町における民話の伝承等から共通項を探り、水源涵養の意味を経験的に理解する効果を持つ「啓発プログラム」を開発する。
13-3-7)-19	1	3181	流域連携交流ネットワークづくり「サクラマスの駅伝」事業	日野川流域交流会推進委員会	委員長	田中保士	福井県	源流から下流域までの統一テーマ「サクラマスの駅伝」事業を通して、魅力ある川づくり、川に学ぶきっかけをつくり、川の正しい知識や情報の共有を目的とした、流域連携交流ネットワークづくり活動。

平成13年度 新規採択一覧(29/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-3)-3	1	3181	埼玉県内の旧堤防と流域の治水について	彩の川研究会	会長	中村 泰明	埼玉県	県内に現存する旧堤防についての調査研究及び公表を行い、県内河川の歴史や地域との関わりを紹介し、その利用や保全に努め、様々な利用できる資料とする。
13-3-7)-10	1	3191	河川行政に関するオーラルヒストリー	河川行政に関するオーラルヒストリー実行委員会	委員長	藤田 龍之	東京都	戦後河川行政史上の重要課題に対する政策決定の経緯について、それに深く関わった人に語ってもらい、オーラルヒストリーとして整理する。
13-3-8)-2	1	3191	河川環境展2001	河川環境展2001実行委員会	委員長	玉井 信行	東京都	河川環境における国内最大の展示会として、関連企業・団体及び一般の人々に対して、河川環境のあり方を啓発・普及することを目的とする。
13-3-3)-7	1	3191	利根川歴史研究(その4)	利根川歴史研究会	事務局長	熊野可文	東京都	利根川の近世・近代における地域社会との係わり及び土木技術の歴史変遷を示し、これからの河川の求める姿を探る。このため公開セミナー、現地見学会等を行う。
13-3-3)-8	1	3191	最上川源流における日本の原風景と暮らしを考える集いとワークショップ	日本の原風景を映像で考える会	代表	恩地日出夫	東京都	映画「蕨野行」のメイン撮影現場である蕨野(棄老達の終焉の場)と里(集落)の境界である最上川源流を中心に日本の原風景と暮らしの原点を考える。
13-3-8)-4	1	3191	日本水大賞顕彰制度	日本水大賞顕彰制度委員会	委員長	高橋 裕	東京都	水循環系の健全化に貢献した活動を表彰し、このような活動の大切さを広く啓発し、活動の一層の活性化を図る。
13-3-8)-5	1	3191	川や水の活動団体調査	社団法人日本河川協会	会長	小坂 忠	東京都	全国の川で活動している団体の活動内容を調査しホームページにおいて公開して団体相互の情報交換と市民参加の促進を図る。また、常に最新の情報を提供できるようにシステムの構築を図る。
13-3-8)-6	1	3191	第19回なごやレガッタ	名古屋市ボート協会	会長	須賀 慶治	愛知県	ボート競技を通じ市民に河川愛護を訴え、河川浄化が進んでいることをPRし、将来のボート競技水域も含んだ市街地でのウォーターフロントの促進をアピールする。
13-3-II-3	5	3201	継続的助成	真駒内川水辺の楽校	校長	谷代久恵	北海道	真駒内川流域の自然豊かな環境を活用し、子どもたちを対象に、河川での体験・遊び・学習などの親水活動及び環境教育をパートナーシップ体制で継続して行う。

平成13年度 新規採択一覧(30/30)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
13-3-II-8	5	3201	継続的助成	新庄・最上環境会議	代表	東海林 貫治	山形県	河川水、農業用水、地下水等の水質調査と「水を守る、水を綺麗にしよう」の啓発活動。
13-3-II-17	5	3201	継続的助成	白子川源流・水辺の会	会長	本田 純	東京都	定点定時調査及び学習会・講演会を実施し、市民・行政参加型の多自然型河川の創出の方策を研究する。
13-3-II-22	5	3201	継続的助成	特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオー	理事長	馬塚 丈司	静岡県	遠州灘海岸の自然や野生生物の保護調査活動で海岸環境保護の為の環境教育。
13-3-II-24	5	3201	継続的助成	川とまちのフォーラム・京都	代表	浅岡 美恵	京都府	川・水系とまちの新たな文化の再生のため、民・官・学の複合ネットによるその実現と啓発。
13-3-II-28	5	3201	継続的助成	古瀬沢水辺の楽校プロジェクト推進協議会	代表	西川幸之輔	奈良県	水辺の楽校づくりを通じ、子ども、地域住民の連携を図り、河川、溪流の環境教育及び土砂災害対策の重要性を学ばせたい。